

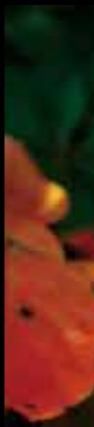
Quality is more than a word

ESPEC

第 72 期

## 中間株主通信

2024 年4月1日から2024 年9月30日まで



# 株主のみなさまへ



代表取締役会長 いしだ まさあき  
**石田 雅昭**

代表取締役 執行役員社長 あらた さとし  
**荒田 知**

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

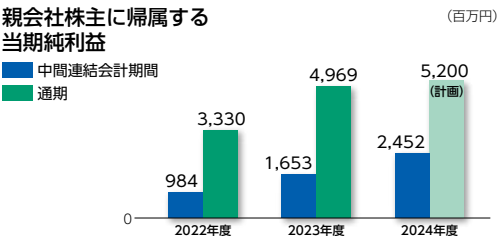
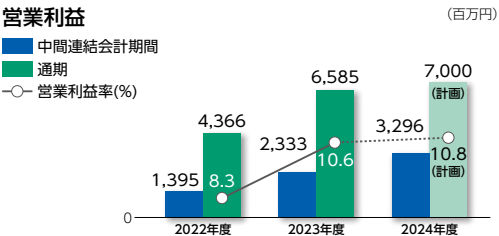
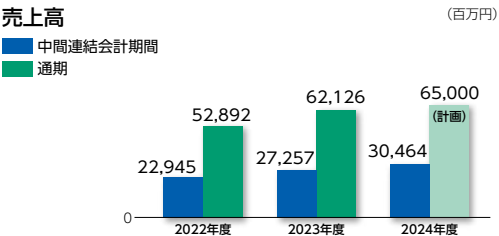
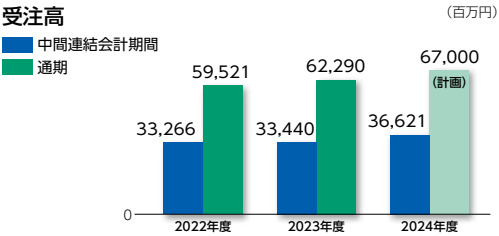
2024年度中間連結会計期間(2024年4月～9月)の事業環境といたしましては、引き続き社会のデジタル化や脱炭素化を背景にエレクトロニクスや自動車関連の投資が堅調に推移いたしました。生産面におきましては、受注残高の消化および生産負荷の平準化に向けて、要員の増加、生産スペースの拡大、

外注の活用により国内の生産能力増強に取り組んでまいりました。経営成績といたしましては、受注高は国内外で好調に推移し、前年同期比で9.5%増加しました。売上高は国内の生産能力増強の効果などにより、前年同期比で11.8%増加しました。エリアでは、日本と北米を中心に売上高が増加し、海外売上高比率は55.9%(前年同期比3.0pt減)となりました。利益面につきましては、販管費が増加いたしました。増収および原価率の改善により、営

業利益は前年同期比で41.2%増加、親会社株主に  
 帰属する中間純利益は48.3%増加しました。受注  
 高・売上高・利益面のすべてにおいて過去最高を  
 更新いたしました。

2024年度通期計画につきましては、中間連結会計期  
 間に大型案件の受注が集中したものの、引き続き高  
 水準の受注が見込まれることから、受注高の計画を  
 630億円から670億円(前年度比7.6%増)に上方修  
 正いたしました。売上高・利益面につきましては期初  
 計画から変更しておらず、売上高は650億円(同  
 4.6%増)、営業利益は70億円(同6.3%増)、親会社  
 株主に帰属する当期純利益は52億円(同4.6%増)  
 を計画しております。引き続き、国内の生産能力増強  
 により受注残高の消化を進めるとともに、高付加価  
 値製品の拡充により収益性の向上に取り組んでまい  
 ります。なお、配当金につきましては1株当たり年間  
 80円から変更しておりません。

株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援を  
 賜りますよう心からお願い申し上げます。



**1株当たり配当金**

	2022年度*	2023年度	2024年度計画
中間	24 円	25 円	35 円
期末	45 円	50 円	45 円
合計	69 円	75 円	80 円
配当性向	45.9%	33.0%	33.6%

\* 創業 75 周年の記念配当 4 円(中間 2 円、期末 2 円)を含む

## 新たに連結子会社化したエスベックサーマルテックシステムとコスモピアハイテック 環境試験事業の強化に向けた戦略を実施

当社の連結子会社は現在13社あり、うち国内が4社、海外が9社です。今回の特集では、新たにエスベックグループの一員となったエスベックサーマルテックシステムとコスモピアハイテックを紹介します。

### 技術力強化・事業領域の拡大

当社グループは、持続的な企業価値向上に向けて、コア技術である「環境創造技術」の高度化や事業領域の拡大を目指しています。そのための戦略の一つとしてM&Aや業務提携を行っており、2021年7月には、株式会社アメフレックが製造部門を会社分割して設立したエスベックサーマルテックシステム株式会社の株式を取得し連結子会社化しました。さらに、2024年10月には同社を存続会社とし、エスベックテストシステム株式会社と吸収合併しました。また、2023年9月には、当社子会社のコスモピアハイテック株式会社が日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社の環境試験装置事業を譲り受けました。

### 技術・ノウハウの融合によりシナジーを創出

エスベックサーマルテックシステム（埼玉県戸田市）は、精密チラー（冷却水循環装置）・空調機や環境試験装置の製造販売を手がけています。低温から高温領域における精密液体温度調技術と高度なカスタマイズ力を活かし、医療機器や半導体分野などの事業強化を図るとともに、エスベックテストシステム（兵庫県神戸市）の吸収合併により事業領域の拡大を目指しています。コスモピアハイテック（静岡県静岡市）は環境試験装置の製造販売を手がけており、独自の冷凍サイクル制御技術により急速温度変化試験に特化した製品開発に取り組んでいます。当社との技術・ノウハウの融合によりシナジー創出を目指していきます。

### エスベックのグローバルネットワーク



## エスペックサーマルテックシステムの活躍

### 量子科学技術研究開発機構より感謝状を拝受 —3GeV高輝度放射光施設「NanoTerasu」の建設に貢献—

2024年5月、エスペックサーマルテックシステムが国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構より、3GeV高輝度放射光施設「NanoTerasu(ナノテラス)」(宮城県仙台市)の建設に貢献した企業として感謝状を拝受しました。「NanoTerasu」は世界最高性能を誇る国内の放射光施設です。同社は、「NanoTerasu」のビームラインにおける光学素子冷却用として、流量・圧力・温度を精密に制御したチラーを納入しました。卓越した精密液体温度調技術とカスタマイズ力による貢献が評価され、この度、感謝状を授与いただきました。また、放射光施設「SPring-8」や「フォトンファクトリー」にもチラーの納入実績があり、高い精度が求められる量子科学分野のニーズに確かな技術力でお応えしています。



## コスモピアハイテックの活躍

### 国内初 低GWP冷媒「R-473A」搭載製品を発売 —国際的な試験規格に適合した急速温度変化試験に対応—

2024年10月、コスモピアハイテックが独自の冷凍サイクル制御技術により、従来の冷媒よりも地球温暖化係数(GWP)が88%低い冷媒「R-473A」を国内で初めて搭載した急速温度変化装置を発売しました。-70℃~+180℃の温度領域において18℃/分の温度変化速度を実現し、国際的な試験規格に適合した試験が可能です。これにより、高集積化・高密度化に伴い発熱量が増大する高性能半導体など先端技術分野の試験需要にお応えします。今後も環境に配慮した製品のラインアップ拡充に



急速温度変化装置  
プレミアムエクセレントシリーズ  
(EC-28PXHH)





## 低温恒温(恒湿)器プラチナスJシリーズ ECOタイプを発売

2024年11月、環境試験器のグローバルスタンダードモデルである恒温(恒湿)器プラチナスJシリーズのECOタイプ6器種を発売しました。国内外で環境規制が厳しくなるなか、お客さまのサプライチェーン全体における温室効果ガス排出量の削減や、地球温暖化係数(GWP)の低い冷媒への転換が求められています。本製品は、当社独自の冷凍技術により-40℃等のマイナス温度域においても消費電力を低減することができます。特に電池の充放電試験や性能評価試験等、低温での長期運転において高い省エネ効果を発揮し、現行モデルと比較して消費電力を最大70%低減できます。さらに、低GWP冷媒[R-449A]を標準搭載し、お客さまの温室効果ガスの排出量削減に貢献します。



低温恒温(恒湿)器 プラチナスJシリーズ ECOタイプ

## 長期ビジョン「ESPEC Vision 2025」達成に向けた社内イベント「Progressive Plus」を3拠点で開催

2024年10月～11月、東京、大阪、京都において社内イベントを開催し、総勢1,000名が参加しました。当日は経営層による「ESPEC Vision 2025」達成に向けた決意表明や、中堅社員で構成するジュニアボードによる「2035年のエスベックのありたい姿」の発表を行いました。懇親会では若手社員によるアトラクションが催され、大いに盛り上がりました。コロナ以降、一堂に会する機会が限られていましたが、本イベントが交流の場となり連帯感を高める良い機会となりました。



荒田社長より「ESPEC Vision 2025」達成に向けた決意を発表

## 能登半島地震の被災地への支援を実施

能登半島地震の被災地への支援として、薬やワクチンを保管できる当社のポータブルタイプの「定温輸送保冷库」を医療機関に寄贈しました。また、石川県鳳珠郡穴水町の仮設住宅において、仮設住宅の温熱環境を改善するため「みどりのカーテン」を設置しました。

## お客さまインタビュー

# 公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団 三次元半導体研究センター 最先端半導体の研究開発、試作、評価・解析を一貫して支援する国内唯一の公的機関

三次元半導体研究センター様の事業内容を教えてください。

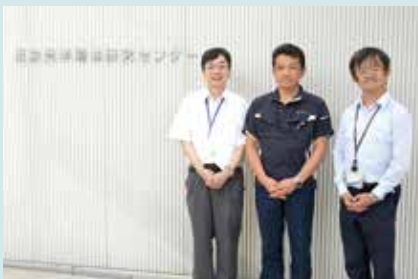
三次元半導体研究センターは、最先端半導体の開発・製品化を推進するため、研究開発から試作、評価・解析までを一貫して支援する国内唯一の公的機関です。福岡大学半導体実装研究所など産学官連携による共同開発も積極的に行っています。5GやAI、自動運転の普及に伴い、半導体の高性能化が進んでいます。半導体は回路が微細化するほど性能が向上しますが、すでに微細化は数ナノメートル(10億分の1メートル)まで進み、限界を迎えつつあります。そのため、当センターが持つ複数の半導体チップを積み上げる「三次元実装技術」が性能向上につながると注目を集めています。

当社の環境試験器をお選びいただいた理由と使用用途を教えてください。

環境試験器といえばエスペックさんだと思っています。環境試験器の業界標準であり、製品への信頼感があります。当センターでは、御社の装置を用いて、新しい実装技術の信頼性評価として国際的な試験規格であるJEDEC規格をベースとした環境試験を行っています。また、自動車関連で用いられる半導体の信頼性評価では、 $-50^{\circ}\text{C}$ ~ $+150^{\circ}\text{C}$ の厳しい温度環境下での試験を行っています。今後は発熱や電氣的な計測・評価など、より複合的な試験が求められてくると思います。これからもエスペックさんとより良い関係を築いていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。



三次元半導体研究センター(福岡県糸島市)



三次元半導体研究センター長 末次 正様、  
副センター長 野北 寛太様、三次元半導体部長(兼)  
社会システム実証部長 小野 昌志様(左から)

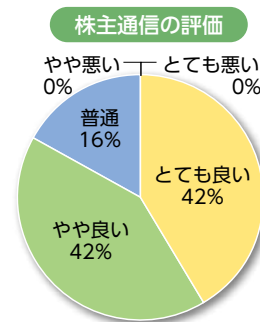
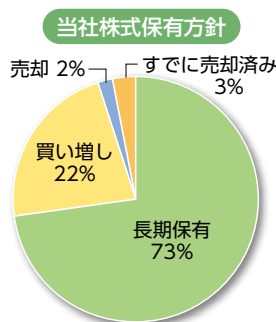
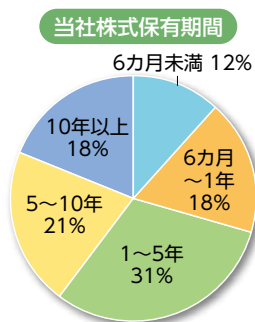
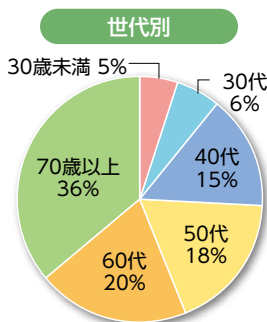


当社の冷熱衝撃装置を用いて半導体  
パッケージの信頼性試験を実施する様子

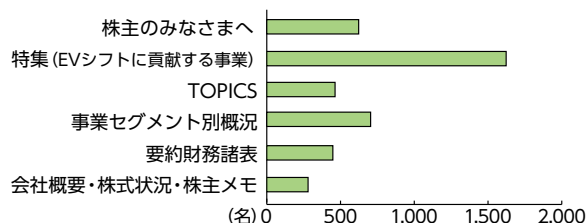
# 株主アンケート結果のご報告

第71期株主アンケートでは、2,435名(男性:75% 女性:25% 回答率:28%)のみなさまにご回答いただきました。ご協力いただき誠にありがとうございました。以下のとおり、アンケートの結果をご報告すると

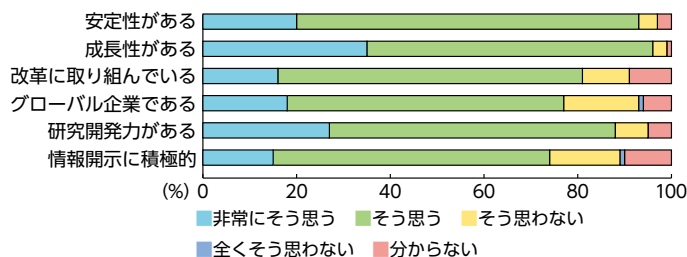
ともに株主さまからの声を一部ご紹介します。みなさまからの貴重なご意見を真摯に受け止め、当社について、よりご理解を深めていただけるよう株主通信のさらなる充実や今後のIR活動に活かしてまいります。



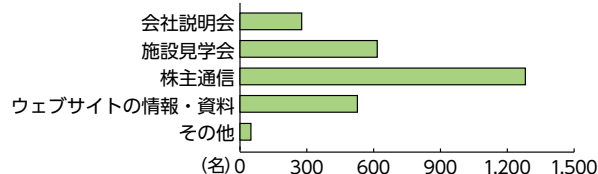
## 株主通信で興味を持った内容 (複数回答可)



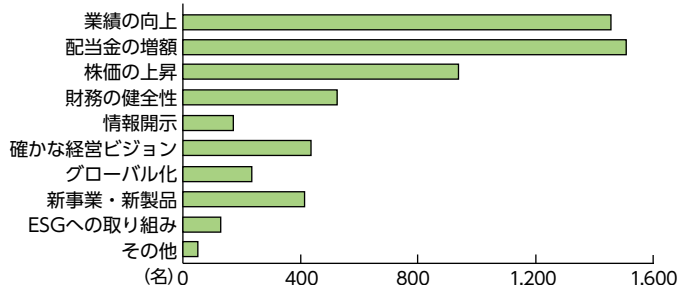
## 当社に対するイメージ



## 充実してほしいIR活動 (複数回答可)



## 長期保有・買い増しに重要なこと (複数回答可)





## 株主さまからの声

### 自動車のEVシフトに貢献しているのですね。 新しい受託試験所について教えてください

▶自動車分野における受託試験サービスの需要拡大に対応するため、「あいち次世代モビリティ・テストラボ」として、愛知県常滑市に新たに車載用バッテリー専用の受託試験所を開設します。また、既存の豊田試験所の機能拡張を予定しています。サービス開始後に詳しくご紹介します。

### お客さまインタビューが興味深かったです

▶「面白かった」「分かりやすい」といった声を多数いただきました。今号では、P.5にて最先端半導体の研究開発などを行う三次元半導体研究センター様のインタビュー記事を掲載しています。ぜひご覧ください。

### 熟成庫も手がけているとは驚きました。 新しい取り組みを応援しています！

▶食品機械事業は、グループ初のベンチャー企業であるエスベッククリヤラボ株式会社が行っています。2018年、「環境創造技術と食品加工技術を融合した商品販売で、食品機械業界に新風を吹き込む」をコンセプトに当時30代の社員3名で設立しました。今後も新しい挑戦を続けてまいります。



減圧低温加熱調理器  
Vide Pro (ヴィードプロ)

### 表紙の「エスベックバンビの里」の写真が素敵！ どんな生物多様性保全活動をしているのですか

▶ユニークな取り組みとして、ニホンミツバチの養蜂を行っています。植物の受粉を助けるミツバチは農薬の使用や気候変動などによって世界的に減少しており、生態系や農作物への影響が危惧されています。警戒心が強く簡単には定住しないニホンミツバチですが、巣箱を設置して3年目でついに巣作りをスタートしてくれました。毎年秋には社内で採蜜会を行い、採れたはちみつを社員で美味しくいただいています。



社員手作りの巣箱を設置



約10ℓのはちみつが採れました

### 研究開発に携わる若手社員の活躍が知りたい

▶若手技術者が学術講演会などに登壇しています。2024年5月の自動車技術会や9月の日本雪氷学会では、地球上のさまざまな気象環境を再現する当社の「全天候型試験ラボ」を活用した自動運転センサの評価方法について発表しました。

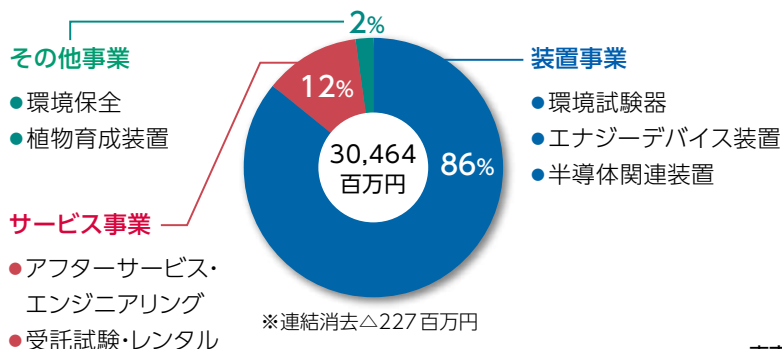


入社5年目の社員が学会で発表

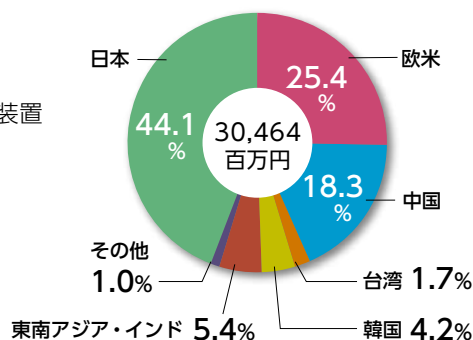
このほか「日本の技術や産業を支える会社として応援しています」「成長性に期待」といった温かいお言葉も多数いただきました。

# 事業セグメント別概況

事業セグメント別売上高構成比

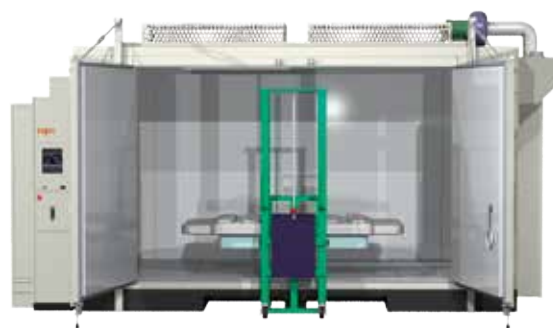


地域別売上高構成比



## 装置事業

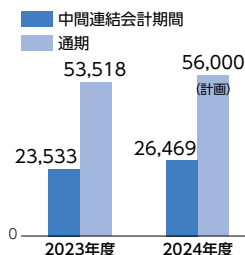
環境試験器については、国内市場では、汎用性の高い標準製品の受注高は前年同期並みとなりましたが、売上高は増加しました。カスタム製品は自動車関連を中心に好調に推移し、受注高・売上高ともに増加しました。海外市場では、受注高は主に中国、韓国、欧州において増加しました。売上高は北米、東南アジア、台湾が増加したものの、欧州が減少し前年同期並みとなりました。エナジーデバイス装置については、受注高は主に国内で大型案件のあった前年同期比で減少しましたが、売上高は国内および北米向け装置の売上計上により大幅に増加しました。半導体関連装置については、受注高はサーバー関連の大型案件の受注により前年同期比で大幅に増加したものの、売上高はメモリ関連の投資抑制の影響を受け、大幅に減少しました。装置事業全体では、売上高は12.5%増加し、営業利益は販管費が増加したものの増収および原価率改善により38.5%増加しました。



車載用バッテリーパックの  
充放電試験用 恒温室ウォークインチャンバー

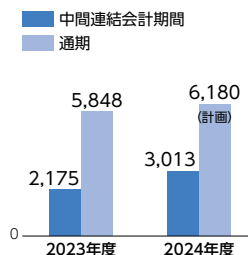
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)

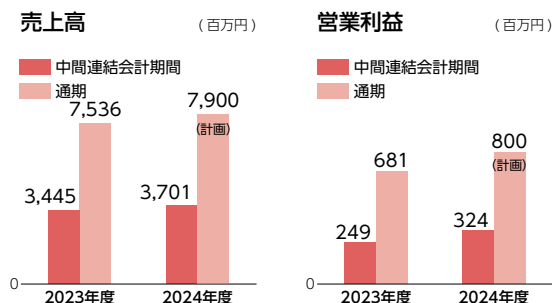


## サービス事業

アフターサービス・エンジニアリングについては、予防保全・修理サービスとともに堅調に推移し、前年同期比で受注高・売上高ともに増加しました。受託試験・レンタルについては、車載用バッテリーを中心に受託試験が好調に推移し、受注高・売上高ともに増加しました。サービス事業全体では、売上高は7.4%増加し、営業利益は増収および受託試験の原価率改善により、30.3%増加しました。



新試験所「あいちバッテリー安全認証センター」イメージパース  
(2025年2月、愛知県常滑市に開設予定)

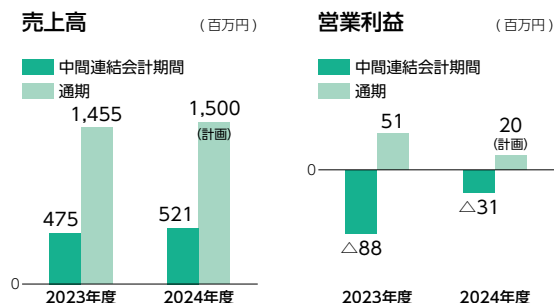


## その他事業

環境保全事業および植物育成装置事業を中心とするその他事業では、水辺づくりや屋上緑化などが堅調に推移し、前年同期比で受注高は23.2%増加し、売上高は9.6%増加しました。しかしながら、利益面については前年同期比で改善したものの31百万円の営業損失となりました。



「トカゲのおうち」をつくる生物多様性保全イベントを支援  
イオンモール常滑 (愛知県常滑市)



## 連結貸借対照表

科 目	(百万円)		
	前中間連結会計期間末 2023年9月30日	前年度末 2024年3月31日	当中間連結会計期間末 2024年9月30日
<b>資産の部</b>			
流動資産	51,667	54,674	47,624
固定資産	22,373	23,560	22,975
有形固定資産	13,437	14,126	14,148
無形固定資産	2,392	2,259	2,155
投資その他の資産	6,543	7,174	6,671
<b>① 資産合計</b>	<b>74,041</b>	<b>78,235</b>	<b>70,600</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	21,676	22,447	14,546
固定負債	2,859	3,072	2,985
<b>② 負債合計</b>	<b>24,535</b>	<b>25,519</b>	<b>17,531</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	45,064	47,722	49,065
資本金	6,895	6,895	6,895
資本剰余金	7,158	7,053	7,053
利益剰余金	34,328	37,091	38,434
自己株式	△3,318	△3,318	△3,318
その他の包括利益累計額	4,215	4,993	4,002
非支配株主持分	225	—	—
<b>③ 純資産合計</b>	<b>49,505</b>	<b>52,715</b>	<b>53,068</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>74,041</b>	<b>78,235</b>	<b>70,600</b>

### ① 総資産

前年度末と比べ7,635百万円の減少となりました。その主な要因は、前年度末に計上された売上債権(受取手形、売掛金及び契約資産並びに電子記録債権)の回収による減少3,665百万円、短期借入金の返済等に伴う現金及び預金の減少2,724百万円、保有株式の時価下落に伴う投資有価証券の減少等による投資その他の資産の減少502百万円などによるものです。

### ② 負債

前年度末と比べ7,987百万円の減少となりました。その主な要因は、短期借入金の減少4,005百万円、仕入債務(支払手形及び買掛金並びに電子記録債務)の減少3,190百万円、未払法人税等の減少250百万円などによるものです。

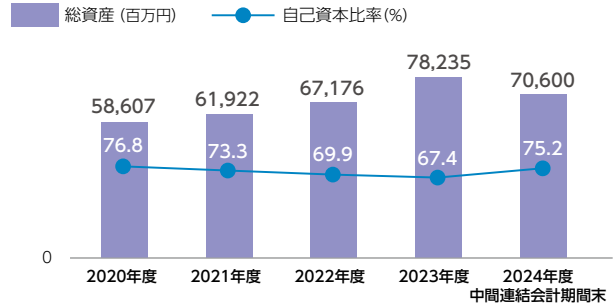
### ③ 純資産

前年度末と比べ352百万円の増加となりました。その主な要因は、当中間連結会計期間において親会社株主に帰属する中間純利益が2,452百万円計上された一方、配当金として1,103百万円剰余金処分されたこと等による利益剰余金の増加1,343百万円、為替換算調整勘定の減少621百万円、その他有価証券評価差額金の減少358百万円などによるものです。

連結損益計算書

科 目	(百万円)		
	前中間連結会計期間 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	当中間連結会計期間 2024年4月1日から 2024年9月30日まで	前年度 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
売上高	27,257	30,464	62,126
売上原価	17,771	19,326	40,132
売上総利益	9,485	11,137	21,994
販売費及び一般管理費	7,151	7,841	15,408
営業利益	2,333	3,296	6,585
営業外収益	225	285	383
営業外費用	32	182	49
経常利益	2,526	3,398	6,919
特別利益	0	107	6
特別損失	5	1	9
税金等調整前中間(当期)純利益	2,520	3,504	6,916
法人税、住民税及び事業税	860	1,052	1,937
中間(当期)純利益	1,660	2,452	4,978
非支配株主に帰属する中間(当期)純利益	6	—	9
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	1,653	2,452	4,969

総資産・自己資本比率



※2021年度より「収益認識に関する会計基準」  
(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	(百万円)		
	前中間連結会計期間 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	当中間連結会計期間 2024年4月1日から 2024年9月30日まで	前年度 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,359	3,135	2,738
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△960	△247	△3,778
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	2,330	△5,310	2,798
現金及び現金同等物に係る換算差額	521	△301	736
現金及び現金同等物の増減額	3,251	△2,723	2,495
現金及び現金同等物の期首残高	14,298	16,793	14,298
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	17,549	14,070	16,793

④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は3,135百万円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益の計上による資金の収入3,504百万円、売上債権の減少による資金の増加3,435百万円、仕入債務の減少による資金の減少3,085百万円、法人税等の支払による資金の減少1,243百万円、減価償却費の計上822百万円などによるものです。

⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は247百万円となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出892百万円、信託受益権の減少による資金の増加457百万円などによるものです。

⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は5,310百万円となりました。これは主に、短期借入金の返済による資金の支出4,000百万円、配当金の支払1,098百万円などによるものです。

# 会社概要・株式の状況・株主メモ

## 会社概要(2024年9月30日現在)

社名	エスベック株式会社
本社	〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6
創業	1947年(昭和22年)7月25日
設立	1954年(昭和29年)1月13日
資本金	6,895百万円
従業員数	1,838名(連結) 832名(単体)

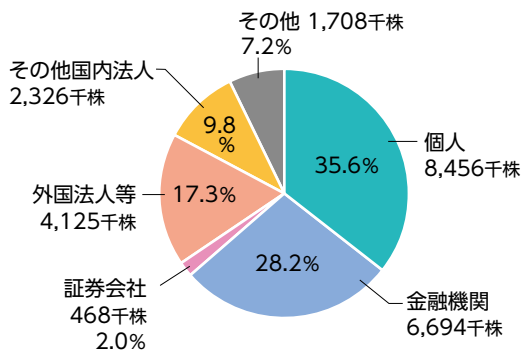
## 役員(2024年6月21日現在)

代表取締役会長	石田 雅昭
代表取締役執行役員社長	荒田 知
取締役執行役員常務執行役員	末久 和広
取締役	大島 敬二
取締役執行役員	西谷 淳子
社外取締役	柳谷 彰彦
社外取締役	平田 一雄
取締役(常勤監査等委員)	石井 邦和
社外取締役(監査等委員)	田中 崇公
社外取締役(監査等委員)	吉田 恭子
執行役員	浜野 寿之
執行役員	淵田 健二
執行役員	渡部 克彦
執行役員	梅原 武彦

## 株式の状況(2024年9月30日現在)

発行済株式総数	23,781,394株 (自己株式1,708,705株を含む)
株主数	9,087名

## 所有者別株式数分布状況



## 大株主

株主名	持株数 千株	持株比率 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,868	12.99
エスベック取引先持株会	2,228	10.10
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,380	6.25
MSIP CLIENT SECURITIES	875	3.97
エスベック従業員持株会	798	3.62
日本生命保険相互会社	553	2.51
株式会社立花エレテック	419	1.90
佐々木嘉樹	280	1.27
第一生命保険株式会社	276	1.25
住友生命保険相互会社	268	1.21

※持株比率は自己株式を除いて計算しております。



## 株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
中間配当制度	有
基 準 日	3月31日および取締役会決議によって あらかじめ公告して臨時に定めた日
株式上場取引所	東京証券取引所(証券コード:6859)
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(通話料無料) (土、日、祝日を除く9:00~17:00)
株主総会資料の 電子提供制度 (書面交付請求) お 問 合 せ 先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324(通話料無料) (土、日、祝日を除く9:00~17:00)
お 取 扱 店	みずほ信託銀行株式会社(本店および全国各支店)
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行株式会社(本店および全国各支店) 株式会社みずほ銀行(本店および全国各支店)
公 告 方 法	電子公告 電子公告掲載の当社ウェブサイトURL <a href="https://www.espec.co.jp/ir/stock/notice.html">https://www.espec.co.jp/ir/stock/notice.html</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載

## お問合せ先

エスベック株式会社 サステナビリティ推進部 IR・広報グループ  
Tel: 06-6358-4744 e-mail: ir-div@espec.jp

## IRサイト・メール配信サービスのご案内

IRサイトでは、財務・業績データや株式情報など  
さまざまな情報をご覧いただけます。  
ぜひご利用ください。

### 決算説明会ページ

2024年度第2四半期(中間期)決算に  
ついて説明動画を掲載しています。

<https://www.espec.co.jp/ir/event/presentation.html>



### 個人投資家さま向けページ

当社の事業や強みについてご紹介し  
ています。

<https://www.espec.co.jp/ir/individual/>



### IRメール配信サービス

IR情報をタイムリーにお知らせし  
ます。IRサイトよりご登録いた  
だけます。

<https://www.espec.co.jp/ir/dirnet.html>



## IRサイトに対する社外評価



証券コード: 6859

エスペック株式会社



#### 表紙・裏表紙の写真について

神戸R&Dセンター内の生物多様性フィールド「エスペックバンビの里」の写真を用いました。  
表紙は柿の木、裏表紙はガガブタのお花とシオカラトンボ、エスペックビオトープのせせらぎ小路です。